

# 生きづらさを共に生きる

- 一幼稚園長としての経験から  
見えてきたことー
- 相山女学園大学外国語学部  
附属幼稚園長
- 堀田あけみ



# 外国語学部から なぜ園長に

自閉スペクトラム（知的障害あり）の次男を含む2男1女が卒園児。

現在担当しているのは  
国語・日本語関係だが、  
心理学者としての専門  
は幼児の言語発達

# 発達に関する悩みを抱える親のパターン

- ・ 困っているので相談する

- ・ 困っているが、それが相談するほどのものかわからない

- ・ 相談したほうがいいかもしれないけれど、踏ん切りがつかない

- ・ 困っているが実感が希薄

- ・ 周囲は困っているが、当事者には実感がない

- ・ 困っている理由は普通に性格が悪いせいだと思っている

# 教育現場のアップデート

ジェンダー

障害

ハラスメント

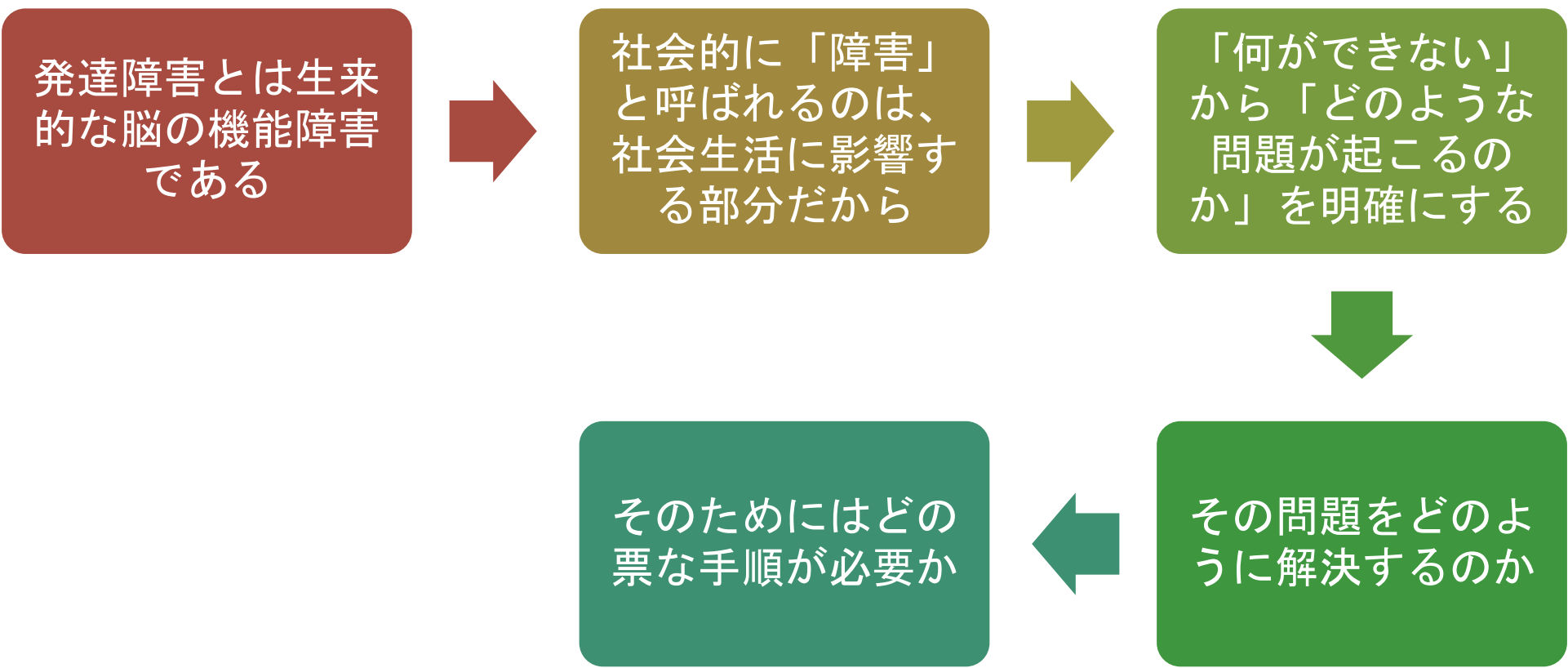
働き方改革

入試のあり方

教員の側はできているのか



# 原点に戻る



# 子どもの視点をとってみる

物理的に変える  
だけでも全然違  
う

子どもの発想は  
なんだろう

感じ方の違いを  
考える

# 診断名がつくとはどういうことか



こういう子は  
一定数いる



服薬を含めた  
対処法がある



# 問題の源は

障害である

→

誰も悪くない

自分だけの問題ではない

改善の手立てがある

障害ではない

→

本人の性格が悪い

親の育て方が悪い

非常に個人的な問題である

改善は難しい

# その辛さは誰もの？

本人も周囲も辛い

本人は辛いが周囲は辛くない

周囲は困るが本人はハッピー

本人も周囲もハッピー（問題があっても）

# 寄り添う 「勇気」を持つ

同じ視点で同じものを見してみる努力

自分の辛さを子どもに転嫁しない

何が子どもを楽にするかを考える

自分の気持ちはとりあえず置いておく

「良かれと思って」「将来のため」は棚に上げる

ご清聴ありがとうございました